

# 笑心の郷 だより

令和3年10月号

〒707-0421  
美作市川上30-1  
多機能型介護ホームえーる  
TEL78-0555  
多機能型介護ホームはーと  
TEL78-0558  
デイサービスセンターどりーむ  
TEL78-0557

基本理念：あなたの笑顔と夢を わたしの笑顔と夢で 心を込めて応援します



暑い暑いと毎日口癖の様に出ている言葉が、今では朝、晩と肌寒く毛布を出しコタツの準備をしたりと、冬支度に追われる日々になりました。今回どりーむでは、九月十二日にさつま芋を使ったおやつ作り「菊の練り切り」に挑戦して頂きました。職員の気合いが入りすぎものすごく大きなさつま芋の準備をしてしまいました。利用者さん一人だけの力ではどうしてもさつま芋が包丁で切れないため、利用者さんと職員一緒に力を合わせて「よいしょ!!と小さく刻みしんじでチンし、すべての食材と混ぜ合わせ手で丸めて、菊の花びらに見える様につまようじで何度も何度も線も引いて可愛い菊の花の完成です。とても綺麗に仕上がりました。



るのが勿体なくらいです。しかし一度口の中に入れてしまおうと皆さん「美味しい!!」と笑顔がこぼれペロリと完食されました。大きなさつま芋を用意した甲斐がありました。

## えーる

秋桜の咲く会場で9月23・29日と利用者のお一人お一人が主役となる敬老会を開催しました。壁面の秋桜ですが、レクリエーションの時間を利用して作りました。何が出来るの?等言いながら毎日少しずつ作り、完成するとワーッと喜んで下さり、



当日は秋桜の花も主役です。男性は男爵となりシルクハット、チョウネクタイをつけて、光るステッキを持って写真を撮りました。順番を待つ間ドキドキです。女性は貴婦人となり女王のティアラをつけお化粧をしました。大きなアクセサリを耳首につけての記念写真です。「似あっているよ」とお互いに言いながらハイポーズ! 恥ずかしいと言われる方や「何十年前から紅をつけてないわ」とやはり女性ですね。おやつ

の時間には紅白タイ焼きをすまして食べました。紙芝居もとても上手で笑いあり涙ありの芝居でした。今日は「最高」と笑顔で言われていたお一人お一人が「来年もお元気で祝いしましょうね」と敬老会を楽しく終了しました。



## どりーむ

九月十七日に敬老会を開催しました。職員全員による寸劇「かくや姫」を披露しました。衣装は各自家から着物など持ち寄りたり手作りの衣装もあります。竹の絵や屋敷、かつらなどの大きな物から小さな物まで頑張って作りました。職員一同緊張しており、念の為にカンペも用意しました。がやはり声がうわすったりセリフが飛んだりハプニングも沢山ありました。けれど登場人物が出て来るとロマンに「おっ!お爺さん出て来た。カッコエ工ナ」!「よっ!お婆さん」と大きな声で声援くださったり、最後にかくや姫が月へ帰る場面では「かくや姫、月へ帰らんといて〜。」と最後まで応援して下さいました。最後に職員から利用者の皆さんへささやかな記念品を送りました。職員はかくや姫の姿のまま利用者さんと集合写真を撮り楽しい一日を過ごせたのではないかと思います。



今年も九月二十一日・二十七日に、はーとで敬老会を開催しました。日頃の利用者の皆さんへの感謝の気持ちを表すと同時に、人生の大先輩への敬意をこめて、職員全員一丸となり皆さんに喜んでもらえるように一生懸命取り組みました。まずはみんな歌をうたいました。「もみじ」「赤とんぼ」「すず虫」「りんごのうた」など秋っぽい、哀愁を存分に感じられる雰囲気になったところで寸劇の始まりです。練りに練られた台本と手の込んだセットで「浦島太郎」を上演しました。物語が進むにつれて役者陣も感情がどんどん高まってきた、セリフもアドリブの連続。大きな笑い声に包まれました。最後には涙混じりで喜んで頂いている利用者さんもらっしやり、職員、利用者さんともに、とても満足のごく催しとなりました。米寿の方もおられ、プレゼントをお渡ししました。おめでとうございます。



## 今月のお食事

今回は敬老の日の献立で、赤飯、いとより鯛の粉山椒煮、茶碗蒸し、酢味噌和え、フルーツゼリーです。

敬老の日は、多年にわたり社会に貢献された方々を敬愛し長寿を



お祝いする日です。赤飯には栗を添えて、秋にぴったりなお祝い献立となりました。

## はーと

